

発電所の安全は私たちが守っています! 発電所各課の紹介(第5回)

東通原子力発電所には1室10課の部署があります。
今回は発電所技術部門のかなめとして活躍する「技術課」を紹介いたします。

私たち技術課は課長以下17名(うち青森県出身者8名)で、技術グループと原子燃料グループにより構成されています。

技術グループの主な業務は、国や自治体に提出する報告書の作成や環境調査などがあります。また、ホームページの「東通原子力発電所 運転情報」も作成しています。グループの業務内容が多岐に亘り、様々な知識と経験が必要であるため、機械・電気保修、放射線管理、運転管理などを経験した所員がバランスよく配置されています。

原子燃料グループは、燃料工場から燃料を受け入れた時の検査や定期検査時に燃料を原子炉へ装荷する作業、運転中に燃料が安全かつ適切に燃焼するように管理することなどがあります。また、国際原子力機関(IAEA)による定期的な査察がありますが、この対応についても原子燃料グループが行います。これらの業務は極めて専門性が高い内容であり、原子力を専門に勉強してきているか、または燃料管理業務を長く経験してきている所員が配置されています。

今後も皆さまから信頼される発電所の運営に貢献できるように努力してまいります。

技術課長 多田 恒博



8月に異動してまいりました。山の深い緑と海の青さに感激しています。よろしくお願いいたします。

技術グループ

東通原子力発電所の『なんでも屋』として、発電所内の業務が円滑に進むように、また、国や県、村への定期的な報告からお客さま対応まで幅広く頑張っています。



技術グループ つがる市出身 工藤 貴之

常に安全・安心を最優先に考え、発電所の各種データの監視業務をしっかりと行い、皆さまに分かりやすい情報を提供できるよう、ホームページ掲載業務にも取り組んでまいります。



原子燃料グループ

地域の皆さまに安心していただける発電所を目指し、常に安全最優先を心がけて燃料の管理を行ってまいります。



原子燃料グループ 青森市出身 佐藤 岳之

皆さまに安心して電気をお使いいただけるよう、安全最優先の気持ちと的確な情報発信を日々心がけています。



原子力ピックス

引き続き慎重に評価を進めてまいります

東通1号機の耐震安全性評価について、追加で調査、評価・解析します。

当社では、一昨年に改定された原子力発電所の耐震指針(新耐震指針)に基づき、評価を実施しています。東通原子力発電所については、本年3月に中間報告を行い、新たな基準地震動を450ガルに引き上げるとともに、主要な設備の耐震安全性が確保されていることを確認しております。

こうしたなか、9月4日、原子力安全・保安院より通知文書「新潟県中越沖地震を踏まえた原子力発電所等の耐震安全性評価に反映すべき事項について」が全国の原子力事業者等に通知されました。

この通知を踏まえ、新たに活断層と評価した横浜断層も含め、現在実施している耐震安全性評価に適切に反映することとしています。このため、平成20年9月に予定していた東通原子力発電所1号機の耐震安全性評価結果の報告を延期することとしました。結果については、まとめ次第、原子力安全・保安院へ報告することとしています。

皆さまに安心をお届けできるよう、しっかりと取り組んでまいります。

『風舞翔吹(かさまいしょうぶ)』優雅に舞う!

8月31日に開催された「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」に、当発電所所員や関連企業等の方々、総勢54名による、よさこいチーム『風舞翔吹(かさまいしょうぶ)』として参加いたしました。当日、曇り空の下での演技となりましたが、美しさと躍動感あふれる舞いを披露し、踊り終えた表情は充実感と爽快感に満ち溢れ、見ている方々から大きな歓声と拍手をいただきました。応援ありがとうございました。

